

SHK制度改正で広がる

「中大規模木造建築」視察ツアー

～SHK制度2026.4改正予定！～

#GX #カーボンニュートラル #脱炭素

-2050年カーボンニュートラル実現に向け、温室効果ガス排出量から木材製品利用による炭素蓄積量を差し引いて国に報告することができるよう、SHK制度が改正される予定です-

開催日時：令和8年2月20日(金) 9時15分～15時00分

○集合場所：大分市要町貸切バス駐車場発着 →



○申込：こちらの二次元コードから申込ください



○申込締切：2月10日(火) ※定員になり次第、受付を終了します

○定員：20名

※昼食は大分大学食堂
をご利用ください

○参加費：無料

申込：URLからの場合はこちらです→ <https://ttzk.graffer.jp/pref-oita/smart-apply/surveys/4549877551576337906>

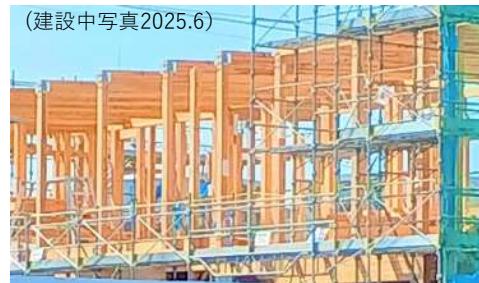
○参加対象：SHK制度、GX、カーボンニュートラル、中大規模木造建築に关心がある企業・市町村・建築士・学生等

政府は2050年カーボンニュートラルを掲げ、対応を進めています。カーボンニュートラル対応は環境対策のみでなく、競争力や信頼性を高める戦略となります。当ツアーは、2026年4月SHK制度改正予定の「木材製品利用による炭素蓄積量」についての紹介、中大規模木造建築物（4か所）の視察、講師による講話を行います。
木材利用による脱炭素化を推進する上で有益な内容となっておりますので、ぜひご参加ください。

【木造建築物 現地視察】★木造で中・大規模の非住宅建築を行う際に参考になる事例です★



①大分県木材会館(2021)-事務所・軸組工法-
・SHK制度改正紹介、建築視察



②大分森林管理署(2026)-庁舎・CLT・耐火建築物
・CLTによる建築視察

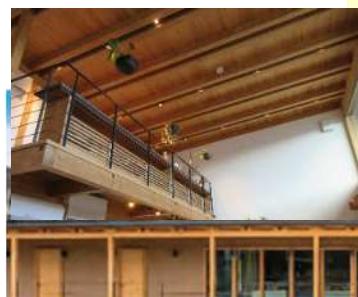


①～③：大分市 行程→
④：豊後大野市

(※大分県木材協同組合写真提供)



③大分大学学生交流館(2016)-食堂・GIR-
・GIRによる建築視察



④FUJII BREWERY(2022)-店舗・製材品9mの合わせ梁-
講師：日本文理大学 工学部 建築学科 教授 三浦 逸朗氏
・建築視察・講話：非住宅建築物における木造化の可能性

※当時は、ツアーの様子を写真撮影して広報等に使用することがあります ※お申込みいただいた内容は、本ツアーの運営管理に利用し、他の目的で利用することはありません。

・主催：大分中部流域大分・臼津地区林業活性化センター

★ツアーを通して、中大規模の非住宅木造建築物による木材の需要拡大を図ります

・共催：大分県・後援：大分県木材協同組合連合会

・問い合わせ先：大分県中部振興局 農山漁村振興部 林業・木材・椎茸班

TEL:097-506-5746 FAX:097-506-1816 E-mail : a11604@pref.oita.lg.jp